

# NEUROSTIM

Transcranial Electrical Stimulator  
経頭蓋電気刺激装置



- > USB経由でPCに接続できるコンパクトなバッテリー駆動デバイス
- > 研究用
- > 二重盲検刺激のための研究モード
- > 最大250セッションのメモリ
- > 刺激中の電極インピーダンスをモニター

# 適用性

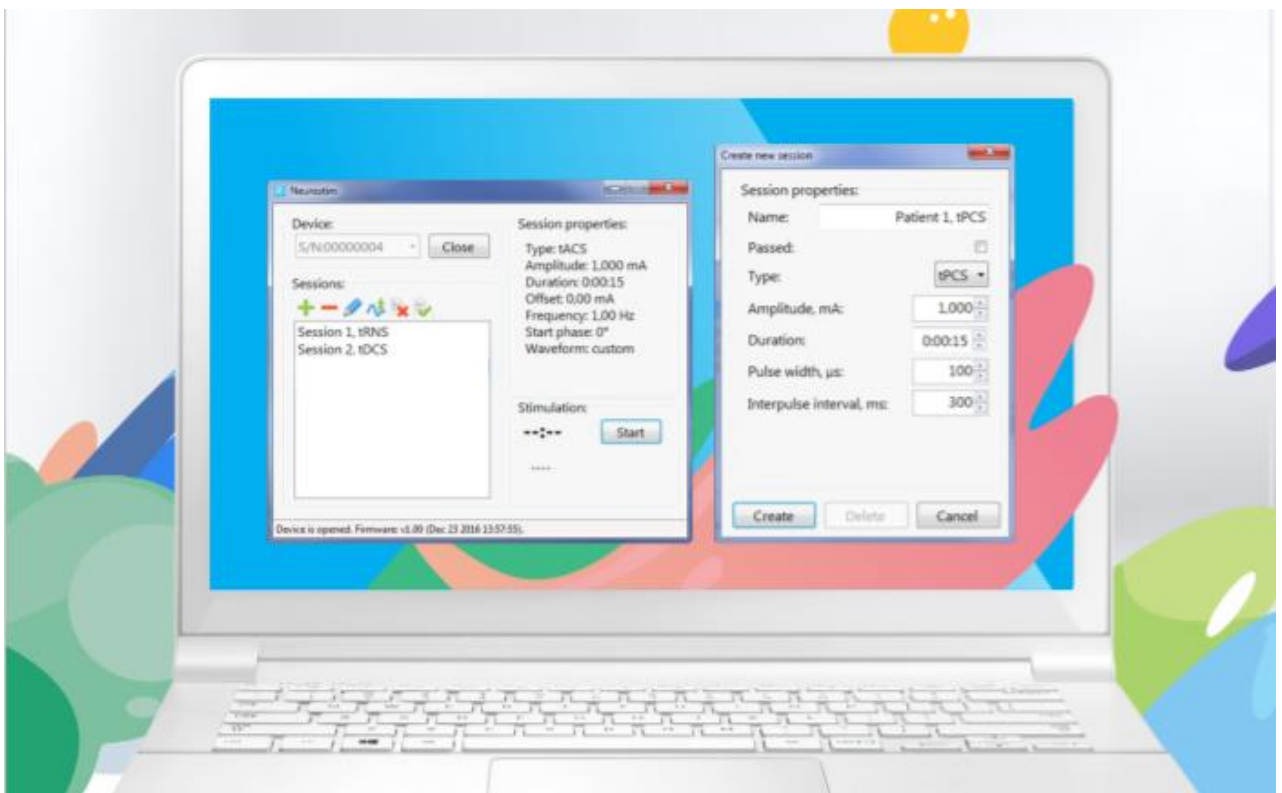
Neurostimは低電流（最大5 mA）の経頭蓋非侵襲性電気刺激デバイスです。電流は大脳皮質の興奮性を変化させる電位を発生させます。このような脳への影響は、皮質興奮/抑制メカニズムを含む皮質の機能状態を研究するために使用され、うつ、認知機能、線維筋痛症、睡眠障害、中毒/渴望、脳卒中や脳損傷後の運動機能、下肢神経障害性疼痛および回復を含むさまざまな障害の研究に使用されています。

## 性能

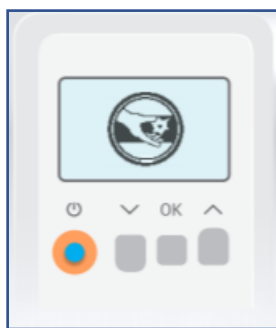
- 取り扱いが簡単なインターフェース。事前設定された実施要綱および機能により、迅速に研究が行えます。
- デバイスの使いやすさにより、わずか3ステップで研究を確実に行うことができます。
- 最大250のリストからセッションを選択し、開始前にセッションのパラメータを変更することもできます。
- 被検者がシミュレーションをオンにするたびに、Neurostimは特定の日に事前設定された刺激セッションを自動的に実行することが可能です。

## 研究用途

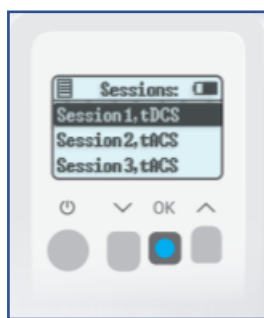
高い汎用性、柔軟な設定、PCソフトウェアを使用した詳細なセッションのカスタマイズにより、様々な研究に適用することができます。



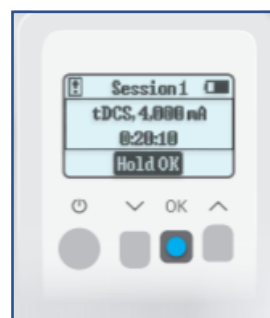
## 3段階刺激



電極を配置し、  
刺激装置のスイッチを入れます。



目的のセッションを選択します。



パラメータを確認し、  
刺激を実行します。

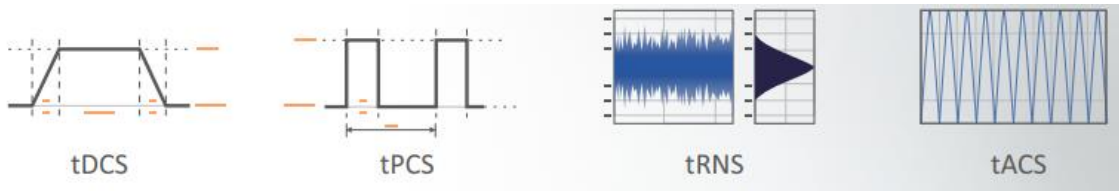


Built-in  
memory for  
**250**  
sessions

**EASY**  
to USE

## 特徴：

- 刺激電流 - 5 mA (30V) 以下
- 刺激持続時間 - 40分以下
- 刺激タイプ
  - tDCS(経頭蓋直流刺激)
  - tACS (経頭蓋交流電流刺激)
  - tRNS (経頭蓋ランダムノイズ刺激)
  - tDSC-Sham(経頭蓋直流刺激+シヤム)
  - tPCS(経頭蓋パルス電流刺激)
  - カスタム波形



- セッションをセットアップする安全な管理者モード
- 操作モード
  - スタンドアロン
  - USB制御（指定のプロトコルによる刺激、刺激プロトコルの作成と編集）

## 明細事項：

- 直流（DC）および交流（AC）刺激用の1チャンネル経頭蓋電気刺激装置
- 0~5 mA の刺激電流（25  $\mu$ A刻みで調整可能）
- 15秒~40分の刺激時間（5秒刻みで調整可能）
- 16ビットD/A変換
- サンプリングレート
  - tACS - 33 kHz
  - tRNS - 10 kHz
  - tDCS - 500 Hz
  - tPCS - 10 kHz
- ストレージ-250セッション
- 電源
  - ・ 6LR61またはHR22タイプの9 Vバッテリーまたは充電式バッテリー（最長3時間）から
  - ・ 5 VのUSBから（最大4000 Vまで電氣的に絶縁）

### お問い合わせ イーストメディック株式会社

本社 〒920-0062 石川県金沢市割出町702-2  
TEL:076-239-4761 / FAX:076-239-1771  
URL: <http://www.east-mediac.jp>

輸入元



Neurosoft-Europe